

1 総第 692 号
令和元年 9 月 13 日

安曇野市監査委員 様

安曇野市長 宮澤 宗弘

平成 30 年度 安曇野市一般会計・特別会計等決算審査意見書への
対応について（報告）

令和元年 8 月 2 日付で提出のあった標記の件について、別添のとおり対応がまとまりましたので報告します。

平成 30 年度 安曇野市一般会計・特別会計等決算審査意見書への対応について（報告）

1. 平成 30 年度 安曇野市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び基金の運用状況審査意見書

項目	指摘・要望事項等	対応等※要望等に対する将来の見通し、そのための対応策	所管課
P 5 1 税・料金等の収入未済額の縮減について	<p>不納欠損額は7千3百万円で前年度と比較して4千1百万円の増加であり、この主な要因は市民税滞納繰越分、固定資産税滞納繰越分等が時効到来等により増加したためです。</p> <p>今後とも関係部局との連携のもと適切な対応によって未収金を縮減するとともに、不納欠損処分については、より一層慎重かつ厳正な取り扱いに努めるよう要望します。</p>	<p>増加した不納欠損額の主なものは、旅館・ホテル2軒の倒産による固定資産税（18,260千円）及び入湯税（3,825千円）によるものです。なお、国保税等については、自己破産等により、その所在・滞納処分をすることができる財産がともに不明であることを事由とした執行停止が3年間継続したこと等によるものです。</p> <p>今後も市の収納対策本部会議、連絡調整会議を定期的開催する中で、関係部局との情報共有をはかり、法定手続きによる適正な、滞納処分及び不納欠損処分に努めていきます。</p> <p>また、自主財源の確保のため、引き続き累積滞納額の縮減に取り組みます。</p>	財政部 収納課
P 5 2 予算の不用額と流用について	<p>予算の流用は本来限定的な運用であるべきものと考えられ、突発的な修繕や、石油価格高騰による燃料費の不足や緊急対応など止むを得ない場合に行うものであります。流用の原因としては予算化された事業費の不足だけではなく当初予算からの科目誤りなど事務的ミスも見られました。事業内容を的確に把握し適正な見積りを行うとともに、確認不足による計上誤りをなくすことにより、流用手続きのより一層の適正化を進めてください。</p>	<p>予算編成は、編成方針に合わせ編成要領により編成作業を行っております。</p> <p>また、節や細節については、具体的事例を示した歳出予算執行科目詳説により計上区分を示しているところです。</p> <p>引き続き編成要領、詳説の浸透を図る中で予算計上科目の正確性を高め、科目計上誤りによる流用が無いように努めます。</p>	財政部 財政課
P 6 3 補助金要綱等の補助対象経費等について	<p>市では補助金等の適正化に向け根本的な見直しを行い整理合理化を図っているところですが、補助対象経費等は補助金額の算定の基礎となる重要事項でありますので、見直しの一環として補助対象経費の対象費目を明確にするよう検討してください。</p>	<p>市では「補助金等交付規則」を定めるとともに、個別に「補助金等交付要綱」等を定め、補助目的、補助対象者、補助要件、補助率等を広く公表し補助金等交付事務の適正化を図っています。</p> <p>また、補助金等交付事務の流れを具体的に示した「補助金等交付事務手引き」により公平で公正な補助金制度の維持に努めています。</p> <p>補助対象経費が明確に示されていない要綱等は改正を検討するよう所管部署へ指示いたします。</p> <p>また、補助対象経費の対象費目の明確化についても事務手引きで示しているところですが、改めて事務手引きの浸透を図り補助金等の適正化の推進に努めます。</p>	財政部 財政課

2. 平成 30 年度 安曇野市公営企業会計決算審査意見書

項目	指摘・要望事項等	対応等※要望等に対する将来の見通し、 そのための対応策	所管課
(1) 安曇野市 水道事業 会計 P16 5 むす び	給水人口の減少により収益の減少が見込まれる中、昭和 50 年前後に整備した施設や配水管の多くが更新時期を迎えるため大きな財政負担となります。このような環境に対応するため、施設の長寿命化を図り適正な維持管理を行いながら財務の健全性を確保し安定経営に努めてください。	安曇野市水道ビジョンに基づき、投資額の平準化を図るためアセットマネジメント（資産管理）を実践しています。 施設の長寿命化については、ポンプ等の対応年数を見据え、定期的にメンテナンスを実施し早期の異常等の発見に努めます。 また、管路の更新では、鋳鉄管（耐震管）施工時にポリスリーブ（管の防食シート）を施すことにより長寿命化を図ります。	上下水道部 上水道課
	収入未済額に関しては 5,774 万 8 千円で前年度より 345 万 9 千円減少しました。今後とも税等の関係部局また、料金徴収委託業者との連携のもと適切な対応によって未収金を縮減するよう要望します。	関係部局、料金徴収委託業者と連携し、引き続き未収金の縮減に努めます。 現年度分は、滞納初期での給水停止予告及び催告を積極的に行い、催告に応じない未納者に対しては厳格に給水停止を行います。 支払い方法は口座振替を推奨するとともに、退去等による閉栓時は現地精算を行うことで、確実な収納につなげます。 滞納繰越分の縮減に当たっては、催告に応じない滞納者に対しては所在や財産などの実態を調査し、支払督促等の措置を行います。	上下水道部 経営管理課
(2) 安曇野市 下水道事業 会計 P30 5 むす び	当年度末の水洗化人口は 7 万 5,865 人で前年度に比べ 504 人増加し、年間総有収水量は 828 万 2,785 m ³ で前年度に比べ 14 万 787 m ³ 増加しました。また、普及率は 91.9% で 0.2 ポイント上昇しています。なお、水洗化率は 84.6% で前年度に比べ 0.8 ポイント上昇しているものの、他自治体に比べるとまだ低い水準であるため更なる改善が必要です。	「経営戦略」では、令和 8 年度末の目標水洗化率を 91.4% としています。 下水道未接続者の傾向としては、低所得者世帯や高齢者のみの世帯、浄化槽（合併・単独）設置によって既に水洗便所化されている世帯が大半を占めていると考えられます。 このため、下水道接続工事に対する助成制度を活用いただくことにより低所得者世帯等の接続促進と、浄化槽からの切替えによる加入増加を図るほか、未接続者に対して下水道接続への理解を促すダイレクトメールの送付等により水洗化率向上に取り組みます。	上下水道部 下水道課
	収入未済額は 1 億 1,933 万 6 千円であり前年度に比べ 199 万 7 千円減少しました。今後とも税等の関係部局、また料金徴収委託業者との連携のもと適切な対応によって未収金を縮減するよう要望します。	関係部局、料金徴収委託業者と連携し、引き続き未収金の縮減に努めます。 現年度分は、水道料金と併せた滞納整理が効率的であることから、訪問折衝や催告書送付を行い、収納につなげます。 滞納繰越分は、催告に応じない滞納者の所在や財産などの実態を調査し、滞納処分を行います。	上下水道部 経営管理課